

勘定科目の設定について

1. 勘定科目の設定について

複式簿記の仕訳に準じて行うことにより、貸借対照表と活動計算書が作成できます。仕訳については、別紙マニュアルを見てください。勘定科目はほぼ自由に設定できますが、正常な会計処理を行うためには、次の点を注意しながら科目の設定をしてください。

- ・ らくらく会計を導入した最初に勘定科目の設定をしてください。
- ・ 仕訳を入力した後での勘定科目の変更は慎重に行ってください。
具体的には
仕訳伝票は科目コードで管理していますので、科目名などを変更するとすべての仕訳に変更したものが反映されます。
科目の削除は仕訳入力に使用していないものに行ってください。
科目コードの変更は行わないでください。
- ・ 勘定科目の役割は、次に説明する科目の属性(フラグ)で決まります。正しく設定しないと正常な会計処理ができません。

2. 科目の属性

- 勘定科目の設定画面を開くと、次のような画面になります。

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
▶ 10000	I 資産の部	9	1	0					
11000	1. 流動資産	9	1	0					
11020	現金預金	1	1	0					
11040	現金	0	1	0	1				
11060	預金 1	0	1	0	1				
11080	預金 2	0	1	0	1				
11100	預金 3	0	1	0	1				
11120	預金 4	0	1	0	1				
11140	預金 5	0	1	0	1				
11160	未収金	0	1	0					
11180	棚卸資産	0	1	0					
11200	短期貸付金	0	1	0					
11220	前払金	0	1	0					
11240	仮払金	0	1	0					
11260	立替金	0	1	0					
11280	〇〇特定資産（流動資産）	0	1	0					

- FlgA, B, C... は勘定科目の性格を決める重要な属性となります。らくらく会計では、これを科目のフラグ（旗）といいます。

【注 意】

- 仕訳伝票は科目コードでデータ処理をしていますので、運用途中での科目の変更は、慎重に行ってください。
- 勘定科目の属性は特に重要です。この設定を間違えると正常な会計処理が出来なくなります。

科目の属性

FlgA	0=仕訳科目 1=小科目計 2=(大)計 3=大計 4=〇〇の部計 6~8 =その他の合計科目 9=コメント
FlgB	1=貸借対照表科目 2=収益費用科目
FlgC	0=借方科目 1=貸方科目
小科目	1=小科目 (FlgA=1の科目に合計される)
補助科目	1=補助科目
FlgG	システム制御用ですので、このフラグは変更しないでください。
FlgH	NPO法人会計では使用していません。

- フラグの数値はシステムで演算する際に使いますので既定値を変更しないでください。

3. 勘定科目の操作画面

- ・ 科目の挿入はナビゲーターの「+」をクリックしてください。
- ・ 科目の削除はナビゲーターの「-」をクリックしてください。
- ・ 変更の確定は「レ」または、カーソルポインタを移動してください。
- ・ 科目一覧表の印刷は「印刷」をクリックします。
- ・ 勘定科目は科目のコード番号順に整列します。



4. 勘定科目の名称変更

- ・ 科目名の欄にカーソルを移動させて、科目名をの名称をしてください。
例) 預金1 ⇒ チューリップ銀行普通預金

5. 勘定科目の挿入

- ・ 科目挿入をしたい位置の一つ下にカーソルポインタを移動して、「+」をクリックしてください。次の例のように、一行の空白が出来ますので、ここに新しい科目を入れて下さい。
- ・ 科目コードは前後の科目コード間の数値を決めてください。**科目コード順に整列**します。
- ・ 科目名を入れ、FlgA, FlgB, FlgC等を入れますが、**通常は一つ上のフラグと同一になります。**

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
51050	福利厚生費	0	2	0					
51080	旅費交通費	0	2	0					
51070	研修費	0	2	0					
51080	消耗品費	0	2	0					
*									
51090	印刷製本費	0	2	0					
51100	水道光熱費	0	2	0					
51110	燃料費	0	2	0					

6. 勘定科目の削除

- ・ 削除したい科目の位置にカーソルポインタを移動して、「-」をクリックしてください。
- ・ 確認表示の後に、削除が実行されます。
- ・ 既に仕訳で使用した科目は削除しないで下さい。削除すると正常な会計処理が出来なくなります。

7. 小科目の設定方法

- ・ 次の例は「現金預金」に小科目を設定した例です。
- ・ 「現金預金」科目のFlgAを「1」にします。
- ・ 次の例では現金～預金5までの合計金額が「現金預金」に集計されます。赤字で示される預金1, 2は後で説明する補助科目を付けた場合の例です。

勘定科目(B/S,P/L)

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
▶ 10000	I 資産の部	9	1	0					
11000	1. 流動資産	8	1	0					
11020	現金預金	1	1	0					
11040	現金	0	1	0		1			
11080	預金 1	0	1	0		1			
11080	預金 2	0	1	0		1			
11100	預金 3	0	1	0		1			
11120	預金 4	0	1	0		1			
11140	預金 5	0	1	0		1			
11160	未収金	0	1	0					
11180	棚卸資産	0	1	0					
11200	短期貸付金	0	1	0					
11220	前払金	0	1	0					
11240	仮払金	0	1	0					
11260	立替金	0	1	0					
11280	○○特定資産 (流動資産)	0	1	0					
11300	貸倒引当金 (△)	0	1	0					
11310	諸口	0	1	0					
11320	流動資産合計	3	1	0					
11340			1	0					

8. 補助科目の設定

- 補助科目を付けたい科目の「補助科目」に1を入れると行が赤色にかわります。

勘定科目(B/S,P/L)

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
55400	事業／消耗品費	0	2	0					
55420	事業／修繕費	0	2	0					
55440	事業／水道光熱費	0	2	0		1			
55480	事業／地代家賃	0	2	0					
55480	事業／賃借料	0	2	0					

- この行にカーソルポインタを移動すると、次のようなボタンが表示されますので、補助科目の設定ボタンを押してください。

補助科目の設定

部門別の名称
 する しない

部門別名称変更

補助科目の設定の後で
補助科目名は会計別の名称変更
も可能です。

- 補助科目コードは、001からの連番で設定してください。一科目について最大999補助科目まで設定できます。

削除 閉じる(C)

コード 科目名
001 ○○○
002 □□□
003 ◇◇◇

科目の追加は[↓]キーを押してください。

コード	補助科目名
001	電気代
002	水道代
003	ガス代
▶999	その他

- 補助科目の名称は、全科目に共通する名称になりますが、会計部門別の固有の名称にしたい場合は、次の”会計別名称変更”のボタンを押して名称変更をしてください。
“しない”を選択すると、すべての部門は共通の補助科目名になります。

部門別の名称
 する しない

部門別名称変更

補助科目の設定の後で
補助科目名は会計別の名称変更
も可能です。

- 補助科目を設定したのちは、会計別の名称が優先されます。”勘定科目の設定”で設定した名称に戻りたい場合は、”会計別名称変更”のボタンを押して補助科目名を空白にして画面を閉じると元に戻ります。

9. その他の大切な設定

下記の設定は、内部計算で使用しますので変更しないでください。

勘定科目(B/S,P/L)

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
30000	Ⅲ 正味財産の部	9	1	1					
30100	1. 指定正味財産	9	1	1					
30110	補助金	0	1	1			901		
30120	助成金	0	1	1			904		
30130	寄付金	0	1	1			908		
30140	指定正味財産合計	3	1	1					
31000	2. 一般正味財産	9	1	1					
31020	前期繰越正味財産	0	1	1			100		
31040	当期正味財産増減額	0	1	1			110		
31080	一般正味財産合計	3	1	1			140		
31070	正味財産の部合計	4	1	1			180		
31080	負債及び正味財産の部合計	5	1	1					
31100			1	1					

勘定科目(B/S,P/L)

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
60280	経理区分間振替額	0	2	0					
60280	経理区分間振替合計	4	2	0					
60300			2	0					
62000	税引前当期正味財産増減額	8	2	1			114		
62020	法人税・住民税及び事業税	0	2	1					
62040	当期正味財産増減額	8	2	1					
62080	前期繰越正味財産額	0	2	1			112		
62080	次期繰越正味財産	8	2	1			111		
62100			2	1					
70000	指定正味財産増減の部	9	2	1					
70020	指定補助金	0	2	1			901		
70040	指定助成金	0	2	1			904		
70060	指定寄付金	0	2	1			908		
70080	指定正味財産評価損益	0	2	1					
70100	一般正味財産への振替	0	2	1		1	920		
70120			2	1					
70140	当期指定正味財産増減額	4	2	1			134		
70180	指定正味財産期首残高	0	2	1			132		
70180	指定正味財産期末残高	6	2	1			131		
70200			2	1					
70220	次期繰越正味財産額	8	2	1			141		
70240			2						

“一般正味財産への振替”には次の補助科目がありますが、これも変更しないでください。

コード	補助科目名
901	指定補助金
904	指定助成金
908	指定寄付金